

大 正 三 年 茨 城 縣 統 計 書 第 四 編 目 錄

警 察

	頁
第 一 警察區劃	1
第 二 警察職員	3
第 三 警察官勤續年數及巡查俸給別	4
第 四 警察官年齡別	7
第 五 巡查教育程度	7
第 六 警察官任免及死亡	8
第 七 警察上褒賞人員	8
第 八 巡查懲罰人員	9
第 九 巡查退隱料遺族扶助料及諸給與	9
第 一〇 警察上死傷病人員	10
第 一 一 救 護	11
第 一 二 救護署別	11
第 一 三 保 護	12
第 一 四 精神病者	14
第 一 五 放火犯年齡教育其他因由別	17
第 一 六 自殺者月別及手段	19
第 一 七 自殺者年齡及因由別	20
第 一 八 被殺害者因由別累年比較	23
第 一 九 天災其他ノ事故ニテ死セシ者ノ因由別 累年比較	23
第 二〇 火 災	24
第 二 一 火災月別	25
第 二 二 火災ノ因由別度數累年比較	26
第 二 三 火防組及水防組	27
第 二 四 盜 難	29
第 二 五 盜難月別	30
第 二 六 盜難ニ罹リシ財産	31
第 二 七 贓物發見因由	32
第 二 八 贓物發見因由署別	33
第 二 九 告訴告發	35
第 三〇 犯罪檢舉人員	37

第 三 一 犯罪件數及檢舉件數	39
第 三 二 警察犯諸規則違反人員	43
第 三 三 行政執行法處分	44
第 三 四 刑ノ執行猶豫	45
第 三 五 微罪不檢舉	47
第 三 六 假出獄及假出場	50
第 三 七 禁錮以上ノ刑ヲ受ケタル者	51
第 三 八 政談集會	51
第 三 九 銃砲彈藥ノ賣買	52
第 四〇 狩獵免許	53
第 四 一 宿泊人累年比較	54
第 四 二 宿泊人月別	55
第 四 三 諸興行日數月別	57
第 四 四 諸興行日數署別	58
第 四 五 取締ニ關スル諸營業	60
第 四 六 戶口調査	71
第 四 七 警 察 費	73

衛 生

第 四 八 人口及戶數郡市別	75
第 四 九 病院、醫師、藥劑師、藥種商、製藥者及產婆	76
第 五〇 醫師、藥劑師、產婆資格別	76
第 五 一 鍼治、灸治、入齒、齒拔、口中治療及整骨	78
第 五 二 產婆及鍼治、灸治試驗成績	79
第 五 三 看護婦試驗成績及年末現在	79
第 五 四 賣 藥	80
第 五 五 血清ノ設備	80
第 五 六 隔離病舍	81
第 五 七 衛生組合	82
第 五 八 檢疫及豫防委員	82
第 五 九 本籍人生產及現在人死產	83
第 六〇 現在人ノ出產中死產ノ懷孕月別	84
第 六 一 本籍人死亡	84

第 六 二	現住人死亡累年比較	85
第 六 三	現住人死亡原因月別	86
第 六 四	現住人死亡原因年齡別	89
第 六 五	九種傳染病患者及死亡者	95
第 六 六	腸壁扶斯患者月別	96
第 六 七	腸壁扶斯患者年齡別	97
第 六 八	腸壁扶斯患者職業別	98
第 六 九	赤痢患者月別	99
第 七 〇	赤痢患者年齡別	100
第 七 一	赤痢患者職業別	101
第 七 二	赤痢患者治療日數	102
第 七 三	赤痢各戶別	103
第 七 四	實布埤里亞患者月別	104
第 七 五	實布埤里亞患者治療成績	105
第 七 六	實布埤里亞患者年齡別	105
第 七 七	バラチプス患者月別	106
第 七 八	バラチプス患者年齡別	107
第 七 九	バラチプス患者職業別	108
第 八 〇	發疹室扶斯患者月別	109
第 八 一	發疹室扶斯患者年齡別	110

第 八 二	發疹室扶斯患者職業別	111
第 八 三	種痘人員	112
第 八 四	検査壯丁花柳病及トラホーム患者	113
第 八 五	市町村立小學校兒童トラホーム患者	114
第 八 六	縣立學校生徒トラホーム患者	114
第 八 七	營業者及工場製造所従業者トラホーム患者	115
第 八 八	貸座敷及娼妓	116
第 八 九	娼妓検査成績	116
第 九 〇	畜牛検査成績	116
第 九 一	屠畜検査成績	118
第 九 二	獸類傳染病	120
第 九 三	衛生講話會及幻燈會	121
第 九 四	堀井構造	122
第 九 五	衛生ニ關スル取締規則違反	123
第 九 六	衛生累年比較	124
第 九 七	縣衛生及病院費	124
第 九 八	郡衛生及病院費	126
第 九 九	市町村衛生費	126